

# 公共事業にかかる効果等について

## 交通安全事業

### 【自転車歩行者道整備】

# 一般県道 えがみ みつのり ていしやじょう 江上光法停車場線

県土整備部 道路課

1

## ①事業概要

- 事業名 社会資本整備総合交付金事業
- 路線名 一般県道 江上光法停車場線
- 事業箇所 佐賀市北川副町光法 きたかわそえまちみつのり
- 事業期間 平成16年度～平成23年度（8年間）
- 総事業費 約9億5千万円
- 整備内容 自転車歩行者道整備、車道拡幅  
延長：L=720m 幅員：W=6.5（15.0）m

### ○整備前状況

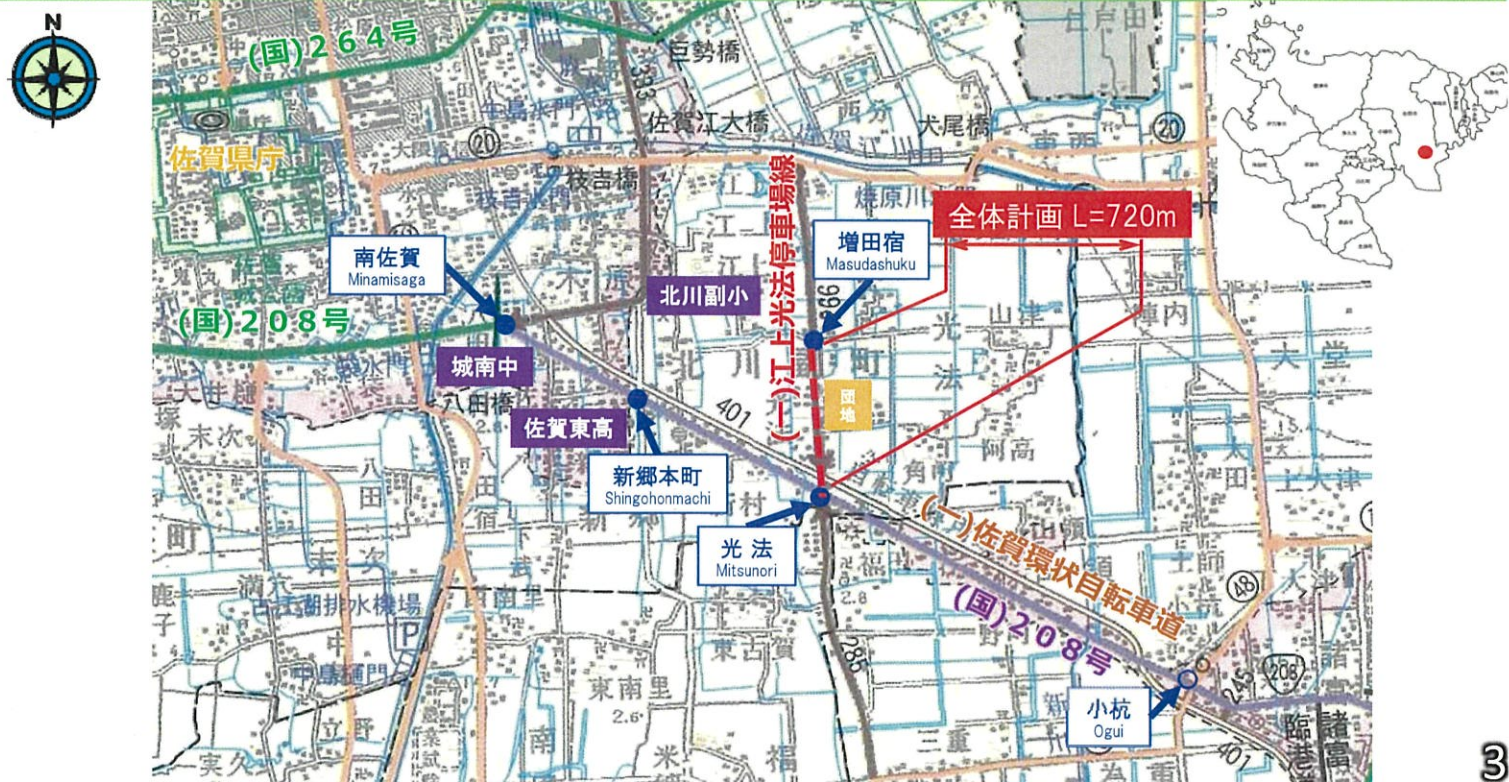
本路線は、佐賀市街地に近く、沿道には住宅団地等が並び、家屋が密集している。さらに自動車交通量が多く、歩道が無い区間や幅員の狭い歩道が片側にしかない区間がある。また、通学路となっており、生徒児童や自転車利用者の通行が非常に危険な状態となっていた。

### ○整備後状況と整備効果

光法交差点（国道208号との交差点）～増田宿交差点までの約720mの区間で自転車歩行者道の整備及び車道拡幅を実施した。整備後、自転車歩行者の安全が改善され、事故件数が減少し、一定の効果が得られている。また、車道拡幅と交差点改良を併せて実施したことにより、自動車交通の円滑化を図ることができた。

2

## ②位置図



3

## ③背景と目的

### 事業の背景

- 通学路（北川副小学校）でありながら、歩道がない区間や狭い歩道が片側にしかない区間があり、危険な状態。
- 沿道には県営・市営住宅、家屋及び病院等が立ち並び、歩行者の通行が多いなか、安全が確保されていない。
- 車道幅員も狭く、円滑な通行に支障を来たしている。

事業実施！

### 事業の目的

- 生徒児童や地域住民の方々が安全に安心して通行できるよう、自転車歩行者道を整備する。
- 併せて、自動車交通の円滑化を図るため、車道幅員を広げ、快適に通行できる車道を整備する。

4

## ④整備前状況



5

## ⑤整備計画（標準断面図）

整備前



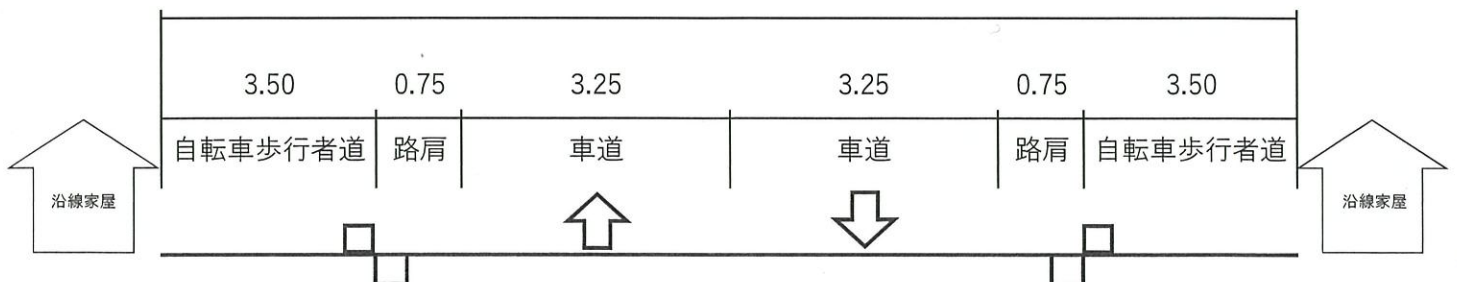
自転車歩行者道の整備

+

車道の拡幅

整備後

15.00



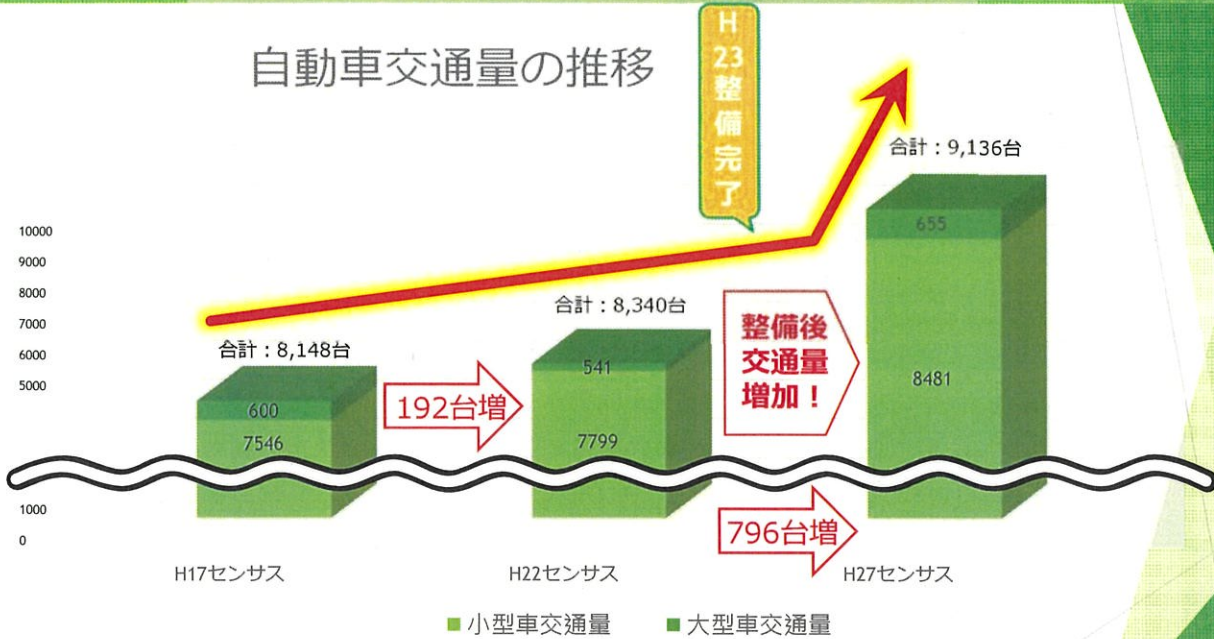
6

## ⑥ 整備後状況



## ⑦-1 整備効果（自動車交通量の推移）

自動車交通量の推移

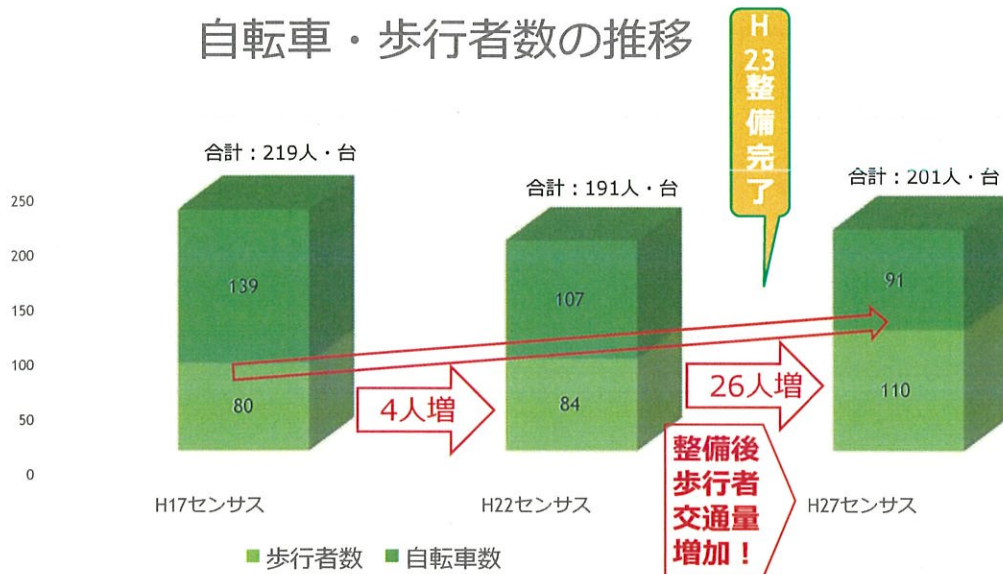


○交通量はH17とH22を比較して微増しているが、道路整備後は約10%増加している。

○自動車交通の円滑化

## ⑦-2 整備効果（自転車・歩行者数の推移）

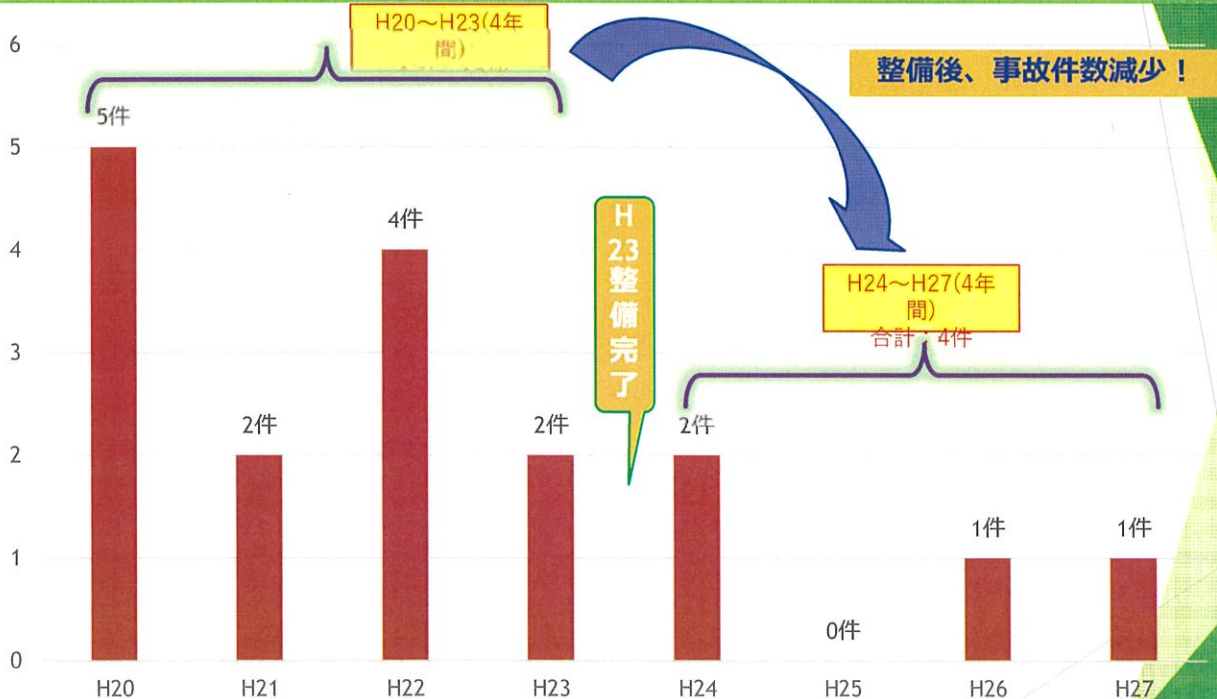
### 自転車・歩行者数の推移



○道路整備後、歩行者交通量は約40%増加している。

○歩行者交通の円滑化

## ⑦-3 整備効果（事故件数の推移）



○事故件数は整備前と比べ、約70%減少している。

○交通安全性の向上

## ⑦-4 整備効果（社会情勢の変化）

☆道路整備後、沿線地域において分譲住宅、医療機関が新設されるなど地域社会の発展に貢献している。



11

## ⑦-5 整備効果（まとめ）

☆道路整備後、自動車・歩行者の交通量が増加しているが、事故件数は減少している。



☆自転車歩行者が安全に安心して通行できる道路環境が整備された。

☆自動車交通の円滑化を図ることができた。

☆沿線地域において分譲住宅、医療機関が新設されるなど地域社会の発展に貢献した。

12

## ⑧ 県民の意見

- 自転車歩行者道が整備されたことにより、通学する児童や地域住民が安心して利用できるようになった。
- 整備前に比べ、自動車交通量が増えた気がする。